

郵趣振興協会 活動報告（29）

2024年度 第1Q

2024年3月5日～2024年6月17日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

全国切手展「スタンベックス ジャパン 2024」等が無事終了。

全国切手展「スタンベックスジャパン 2024（2024/3/30-4/1開催、以下、スタンベックス）」およびフィラテリストの交流を目的とする宴会「ジャパン・フィラテリスト・サミット2024（2024/3/30開催、以下、サミット）」は、当協会の正会員・賛助会員の会費、および寄付により無事運営され成功裏に終了しました。

スタンベックスとサミットの活動については、本年より活動報告書（A4判フルカラー 20ページだて冊子、右図）を発行し、当協会の正会員・賛助会員の皆様等に郵送させていただきましたので、同冊子をご参照いただければ幸いです。



目次

体制・協賛・後援・協力

総括（実行委員長 横山 裕三）

審査総評（審査委員長 佐藤 浩一）

審査チームに参加して（審査員 アンドリュー・チョン）

切手コレクション展示会場の様子

多目的ホールの様子

ジャパン・フィラテリスト・サミット2024 開催報告

スタンベックスジャパン2024 審査結果

スタンベックスジャパン2024 クリティーク

会計速報

寄付御礼

総会を開催、第7期決算を承認

当協会の第7期（2023年度：2023/4/1-2024/3/31）決算がまとまり、6月17日の総会で議決権をもつ正会員の投票で承認されました。

活動計算書（商法上の法人における損益計算書に当たります）によれば、第7期の経常収益は

1,797,700 円、経常費用は 1,525,689 円で、単年度で見ると 272,011 円の黒字となりました。

第 7 期は、全国切手展「スタンベックスジャパン 2024」と「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2024」のより高度な運営に注力する傍ら、郵博特別切手コレクション展およびオンライン会議システムを活用した郵趣研究会例会の技術支援および宣伝協力を、年間を通して実施しました。

経常収益は第 6 期とほぼ同額でしたが、支出の見直しを行った結果、経常費用を大幅に削減できたことにより、運転資金を増やすことが可能になりました。

以上が概略となりますが、詳細の資料（総会に提出された会計資料）につきましては、本電子メールに添付しますので、ご覧ください。

第 8 期事業計画・予算を承認

6 月 17 日に開催された総会には、第二号議案として、「当期事業計画並びに予算の承認」も議題として提出され、議決権を持つ正会員の投票で承認されました。第 8 期予算は、経常収益、経常費用とも、第 7 期決算とほぼ同額です。

収益の面では、会員が増加することに加えて、第 6、7 期と同程度の寄付金が入り、事業も同程度にまわることを前提としていますが、2 ヶ月経過した時点では順調に推移しております。

支出の面では、適切なボランティア評価費用を計上し、各事業にご協力くださる皆様に報いる事を継続します。全国切手展「スタンベックスジャパン」における外国人審査員の招聘により、旅費交通費の予算は増加しますが、同展覧会の開催意義に見合う費用であると共にこの取組を評価しての寄付金も大きく見込めることから、今期も同様の取り組みを継続して参ります。

以上が概略となりますが、予算につきましては、本電子メールに添付します。

なお、事業計画については下記の通りであり予算とともに承認されました。

第 8 期 事業計画

全国切手展「スタンベックスジャパン 2024（以下、スタンベックス）」およびフィラテリスト交流を目的とする宴会「ジャパン・フィラテリスト・サミット 2024（以下、サミット）」を確実に運営する。

郵博特別コレクション展は 3 件の開催を予定している。

オンライン会議システムを活用した郵趣研究会例会の技術支援及び宣伝協力は、4 研究会の Zoom 例会に対して年間を通して支援していく。

「他団体と組んで、郵政博物館で展覧会を開催する事例の実施を検討」については、5 月開催の「第 1 回すみだ鉄道まつり」を皮切りに実施を検討する。

各種事業の進捗の結果、当協会に対する、協賛や寄付が徐々に増えてきている。この流れをさらに円滑にする為に、寄付者にメリットを感じていただける施策を検討していくこととする。

新入会員（2024/4/1-6/17）

当該期間に、4 名の新会員と 3 名の再入会の会員をお迎えすることができましたので、ご紹介させていただきます。頂戴した会費・寄付金につきましては、総会の決議に従い、大切にさせていただきます。

安藤 裕 様、稲葉 良一 様、大場 光博 様、高久 健一 様、伊藤 純英 様（再入会）、丹羽 昭夫 様（再入会）、福田 真三 様（再入会） 順不同

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビジョン事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビジョン事業

第5回全国切手展 スタンペックスジャパン2024 の開催

3/28 設営作業の実施

3/29 審査委員会による審査の実施

3/30-4/1 展覧会の開催（運営）

4/2 撤去作業の実施郵博

ジャパンフィラテリストサミット2024 の開催（3/30, 52名参加）

第6回全国切手展 スタンペックスジャパン2025 の準備会合 5/22, 6/9

郵博 特別切手コレクション展（2024年度）の開催。

6/8-6/9 第7回南方占領地のフィラテリー展（博物館展示のみ）

リサーチ及び研究推進事業

講演講師の派遣

6/8「第31回JPS東北郵趣大会2024in盛岡（JPS北海道・東北地方本部、盛岡支部主催）」にて「1967年シリーズ」を講演。（担当：齋享理事）

展示協力

5/3-5/5「第1回すみだ鉄道まつり（錦糸町マルイ等主催）」にて、鉄道切手コレクションの展示協力。（担当：吉田敬 代表理事）

5/11-12「スタンプショウ広島2024（スタンプショウ広島実行委員会主催）」にて、「Japan 1855 to GPU」の作品展示協力及び会場内での作品解説。（担当：吉田敬 代表理事）

フィラテリックPR事業

情報発信を実施（ブログ：3-5月で14件。対前四半期+250%。他にTwitterを実施）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（齋享リーダー）の活動の継続

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催（3月-5月）

日本切手研究会 4回

外国切手研究会 3回

昭和切手研究会 3回

南方占領地切手コレクターズクラブ 3回

総務ほか

第7期決算・第8期予算の作成・都庁への提出資料の取りまとめ

スタンプショウ広島 後援の決定 4月18日

理事会の開催 5月16日

総会の招集 6月3日

総会の開催 6月17日

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（事業進捗の報告者：理事 菊地 恵実）